

体育科学習指導案

単元名 「 跳び箱を使った運動遊び 」

令和元年11月21日（木） 体育館 1年2組

I 単元の構想

1 身につけさせたい資質・能力

	身につけさせたい資質・能力
関心・意欲・態度	・跳び箱遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り、仲良く運動したり、場や器械・器具の安全に気を付けたりする。
思考・判断	・跳び箱を使った運動遊びの簡単な遊び方を工夫する。 ・自分の考えや友だちのよい動きを見つけて伝えたり、学習カードに書いたりする。
技能	・跳び箱を使った運動遊びでは、その行い方を知るとともに、跳び乗り、跳び下りなどの基本的な技ができるようにする。

2 目標

【関心・意欲・態度】

きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、安全に気を付けたりしながら運動遊びに進んで取り組んでいる。

【思考・判断】

簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことや友だちのよかったところを伝えることができる。

【技能】

跳び箱を使って跳び乗ったり、跳び下りたり、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りができる。

3 評価規準

【運動への関心・意欲・態度（ア）】

・跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動したり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。

【運動についての思考・判断（イ）】

・跳び箱を使った運動遊びの簡単な遊び方を工夫するとともに、自分の考えや友だちのよい動きを見つけて伝えたり、学習カードに書いたりできる。

【運動の技能（ウ）】

・跳び箱を使った運動遊びでは、その行い方を知るとともに、跳び箱を使っての踏み越し跳びや、跳び乗り、跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りができる。

4 単元計画および指導方針

時	週	学習活動	評価	指導方針
1	つ か む	単元の課題をつかむ ①学習のねらいや進め方を知り、見通しをもつ。 ②用具の準備の仕方を確認する。 ③感覚作りの運動の仕方を知る。 ④いろいろな跳び箱を使った運動遊びを行う。 ⑤単元の課題を明確にする。	ア	・単元全体の大まかなながれをつかませる。（ICT活用） ・用具の準備の仕方や安全に行うためのきまりを確認させる。 ・様々な感覚作りの運動や、跳び箱遊びを行うことで、跳び箱に慣れさせる。
		【単元の課題】 自分たちで、手を着いて跳び乗ったり跳び下りたりするコースをつくって遊ぼう。		

2	追究する	<p>①めあての確認と場の準備をする。</p> <p>②予備的な運動「どうぶつになろう」を行う。</p> <p>③いろいろな踏み越し跳び遊びを試す。</p> <p>④いろいろな踏み越し跳び遊びの発表会をする。</p> <p>⑤学習の振り返り、片付けをする。</p>	イ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲をもち、楽しく活動ができるよう助言する。 ・いろいろな踏み越し跳び遊びができるように場の設定を工夫する。 ・いろいろな着地の仕方を発表し合い、思いつけない児童が選べるように支援する。 ・「きょうのキラリ」では、楽しかったことやできるようになったこと、友達のよかった動きなどを振り返るようにする。 ・安全にマットや跳び箱の準備・片付けをするように指導する。
3	本時	<p>①めあての確認と場の準備をする。</p> <p>②予備的な運動「どうぶつになろう」を行う。</p> <p>③さまざまな場で支持でまたぎ乗りをしたり、体重移動をさせてまたぎ下りをしたりして遊ぶ。</p> <p>④学習の振り返り、片付けをする。</p>	イ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲をもち、楽しく活動ができるよう助言する。 ・いろいろなまたぎ乗りやまたぎ下りができるように場の設定を工夫する。 ・またぎ姿勢からの体重移動のよかったところを発表し合い、みる視点やコツなどを確認させる。 ・「きょうのキラリ」では、楽しかったことやできるようになったこと、友達のよかった動きなどを振り返るようにする。 ・安全にマットや跳び箱の準備・片付けをするように指導する。
4		<p>①めあての確認と場の準備をする。</p> <p>②予備的な運動「どうぶつになろう」を行う。</p> <p>③支持でまたぎ乗り、移動してからのもたぎ下りなどをして遊ぶ。</p> <p>④「いろいろなお馬さん遊び」をする。</p> <p>⑤学習の振り返り、片付けをする。</p>	ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲をもち、楽しく活動ができるよう助言する。 ・いろいろなまたぎ乗りやまたぎ下り遊びができるように場の設定を工夫する。 ・お馬さん遊びでは、苦手な児童でも取り組めるように高さを低くし、手で支えて跳べる動きが身に付くように設定する。 ・「きょうのキラリ」では、楽しかったことやできるようになったこと、友達のよかった動きなどを振り返るようにする。 ・安全にマットや跳び箱の準備・片付けをするように指導する。
5		<p>①めあての確認と場の準備をする。</p> <p>②予備的な運動「いろいろなお馬さん遊び」を行う。</p> <p>③支持で跳び乗ったり、跳び下りたりする。</p> <p>④学習の振り返り、片付けをする。</p>	ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲をもち、楽しく活動ができるよう助言する。 ・お馬さん遊びでは、苦手な児童でも取り組めるように高さを低くし、手で支えて跳べる動きが身に付くように設定する。 ・いろいろな支持で跳び乗りや跳び下り遊びができるように場の設定を工夫する。 ・「きょうのキラリ」では、楽しかったことやできるようになったこと、友達のよかった動きなどを振り返るようにする。 ・安全にマットや跳び箱の準備・片付けをするように指導する。
6	まとめ	<p>①めあての確認と場の準備をする。</p> <p>②予備的な運動「いろいろなお馬さん遊び」を行う。</p>	イ	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の課題を提示し、児童が意欲をもち、楽しく活動ができるよう助言する。 ・お馬さん遊びでは、苦手な児童でも取り組めるよ

<p>(2) 全員で友だちのまたぎ乗りを見て、よかったところを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しっかりと踏み切ってジャンプして跳び箱に乗っているよ。 ○手をバンッと着いているよ。 ○跳び箱をぐいっと押して進んでいるよ。 ○おしりが浮いているよ。 ○ひじが曲がっていないよ。 <p>(3) コツを意識しながら再度いろいろなコースに挑戦してみる。</p>	1 0	<p>かけを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手の平全体を「パン」と跳び箱に着いたり、「ぐいっ」と跳び箱を押して前に進んだりすることを確認し、手の着き方を意識させる。 ・体重移動をして進むことができていない児童には、手を着く位置や腕を支点におしりを上げることを助言したり、示範して見せたりして、手で跳び箱を押す感覚を身に付けることができるようにさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価方法】(見取りの方法) 自分の考えや友だちのよい動きを見つけたり伝えたりすることができる(観察、学習カード)</p> </div>
<p>3 本時の振り返りをする</p> <p>(1) 「今日のキラリ」(自分や友達のがんばりやよかった動きや言葉)を発表させ振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手で「ぐいっ」と跳び箱を押せた。 ○おしりが浮いていたのがよかった。 ○がんばってと言われたのがうれしかった。 <p>(2) 次回の授業内容の確認をする。</p> <p>4 後片付けをする</p>	1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちからめあてに沿った振り返りの言葉が出るように問いかける。 ・次時は本時の支持でまたぎ乗りとまたぎ下りに加えて、いろいろなお馬さん遊びをする事を伝え、次時の意欲につなげる。 ・安全に気を付け、協力して片付けを行うように言葉かけを行う。

<場の設定> : 跳び箱(小) : 跳び箱(中) : 踏み切り板 : マット : 丸めたマット

